

自分を知ってほしい、相手を知りたいという思いを持って話すと、英語でも仲良くなりやすかった。相手にどうしたら伝わりやすい表現ができるかも練習したり勉強したりした。(中3・女子)

自分から話し続けるのではなく、相手の話をよく聞くことが国際交流でも大切だと思いました。(中3・男子)

日本開催だったことで、他の国の代表の人たちは日本にたくさん興味を持ってくれたこと、そして日本人である私自身が、日本の文化や習慣を普段とは異なる視点から見直すことで、日本代表として国際大会に参加できたことをとても誇りに思いました(高1・女子)

大会の間、僕は多くの海外の友人を作り、彼らから多くの新しいアイデアを学ぶことができました。国際的な規模で人と交流するとき、新しいアイデアを、オープンな心で耳を傾けることが大切だと気付きました。(中2・男子)

2019年APRSF-26 水ロケット大会 参加者の声

日本代表研修のときは、どうなることかと不安に思っていました。しかし、11月の大会ではこんなに沢山のひとと仲良くなれるのか！というほど沢山の友達ができました。(中2・女子)

この大会には、自分を成長させてくれる多くの要素が詰まっています。大会を終えた後に、自分の周りの世界が広がっていること、今の自分よりもずっと高い目標を持っていること、その目標に向かって努力できること。(教師)

日本で受ける教育関係の研修ではとにかく難しい言葉が多く、前向きな言葉が少ないように思います。他国の先生のプレゼンでは、前向きな言葉が多く、特にベトナムチームの「inspire」は、心に残っています。(教師)



2019年11月22日～24日に日本（神奈川県相模原市）で開催されたAPRSF-26水ロケット大会には、アジア・太平洋地域の13か国から中高生65名が打ち上げ競技に参加しました。

みなさんの挑戦をおまちしています！

APRSF-27 水ロケット大会スケジュール

- 1日目 参加者現地入り、オリエンテーション
- 2日目 開会式、カントリープレゼンテーション、水ロケット製作、教員プレゼンテーション 等
- 3日目 水ロケット競技大会、表彰式、フレンドシップパーティー 等

APRSF水ロケット大会

APRSF水ロケット大会は、APRSF宇宙教育普及分科会の勧告を受けて、2005年に北九州で第1回目が開催されて以来、毎年開催されています。アジア・太平洋地域の中高生および指導者を対象に、水ロケットを中心とした宇宙教育プログラムを実施し、宇宙・科学技術についての知識や技術の交換、文化関連施設の見学を行うなどして国際交流をはかっています。

アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSF)

APRSFは、アジア・太平洋地域における宇宙活動について情報交換し、宇宙分野での協力活動の構築に向けて議論を行う国際会議です。APRSFについての詳しい情報は、HPをご覧ください。

www.aprsaf.org

検索

■プログラムの中止等について

現地事情等のやむを得ない事由により、本プログラムの実施日、内容、スケジュール等の変更及び中止場合があります。応募に際しては、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

■個人情報に関して

応募書類に含まれる個人情報については「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき厳重に管理し、本プログラム遂行のために利用します。

応募に関するお問い合わせ先

APRSF水ロケット大会事務局

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA宇宙教育センター内
Tel ●050-3362-5039 E-mail ●ap_wre_edu@ml.jaxa.jp



アジア・太平洋地域宇宙機関会議

APRSF-27 水ロケット大会 参加者募集！

【応募締切】2020年6月5日(金) ※消印有効



宇宙、科学、ものづくり、
国際交流に興味のある
中学2年生から高校1年生までの皆さん、
ご応募をお待ちしています！

APRSF-27 水ロケット大会は、水ロケット競技を中心とした、アジア・太平洋の仲間との国際交流プログラムです。



大会概要

- 開催地：ベトナム社会主義共和国ハノイ市
- 派遣期間：2020年10月22日(木)～26日(月)
- 主催：アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSF) 宇宙教育分科会
- 事務局：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙教育センター

※ APRSF-27はベトナム科学技術アカデミー (VAST/VNSC)、文部科学省、JAXAの共催により開催される国際会議です。
※ 水ロケット大会の開催日は変更になる場合があります



はじめに

ペットボトルで作り、水と空気の力で飛ばす水ロケットは、科学の教材としていろいろな国々で使われています。APRSAF水ロケット大会は、2005年に北九州で第1回目が開催されて以来、アジア・太平洋地域の中高校生および教師、教育活動の指導者を対象に毎年開催されています。

JAXA宇宙教育センターでは、この大会への日本代表として派遣する中学2年生から高校1年生までの生徒を、教師または指導者とのチーム形式で募集いたします。同じ志を持つアジア・太平洋地域の仲間と水ロケット競技を行い、宇宙の様々なテーマを通して国際交流を深める意欲のあるチームの応募をお待ちしています。

応募資格

■「日本の学校に在籍する教師1名と同校の生徒2名」あるいは「日本の青少年団体・科学館等にて宇宙・科学技術関連の活動を行っている20歳以上の指導者1名と活動グループのメンバー2名」のチーム形式での応募となります。1校又は1グループにつき3チームまで応募可能です。

※APRSAF-27水ロケット大会は個人競技となり、生徒一人で製作、打ち上げを行います。それに必要な力をチームでの切磋琢磨、協力、競争、交流を通じて高め、実力を発揮してください。

■7月19日(日)(経験者は18日(土))実施予定の2次審査(面接審査及び水ロケット打ち上げ実技審査)ならびに、8月21日(金)～22日(土)実施予定の日本代表研修にチーム全員が参加できること。

■APRSAF-27水ロケット大会の参加費(1名あたり15,000円前後予定)を負担できること。

■日本代表研修およびAPRSAF-27水ロケット大会参加にあたり、学校長(所属長)および保護者から参加の承諾が得られること。

生徒

2020年10月25日現在、中学2年生から高校1年生の16歳以下の方で、心身ともに健康で、水ロケットおよび宇宙に関心があり、積極的に海外の仲間と交流する意欲のある方。(ただし、過去に日本代表として参加経験のある方のご応募はご遠慮ください。)

チーム代表者

日本の学校に在籍する教師、または日本の青少年団体・科学館等で宇宙・科学技術関連の活動を行っている20歳以上の方で、心身ともに健康で水ロケットおよび宇宙教育に関心がある方。水ロケットおよび生活面全般の指導ができ、本プログラムを通して積極的に国際交流がはかれる方。

水ロケット大会はすべて英語で行われ、日本語通訳はありません。大会中、生徒、指導者ともに英語でプレゼンテーションをする機会があります。積極的に英語でコミュニケーションをとる努力をされる方を求めます。

経験者枠について

過去に日本代表として参加経験のある教師・指導者が代表者を務めるチームは、経験者枠で募集いたします。代表選出時、経験者枠で参加される教師・指導者の方は、過去の参加経験を活かして日本代表参加者を取りまとめていただきます。

費用について

- 1次審査(書類審査)……応募にかかる郵送料等は応募者のご負担となります。
- 2次審査(面接審査および水ロケット打ち上げ実技審査)……交通費を含む参加費用は、参加者のご負担となります。
- 日本代表研修……交通費はJAXAが負担いたします。(JAXA旅費規定に基づく)。宿泊と1日目の昼食と夕食、2日目の朝食と昼食はJAXAが提供します。
- APRSAF-27水ロケット大会派遣……自宅最寄駅から空港までの往復国内交通費、ベトナムへの往復航空運賃(エコノミークラス)はJAXAが負担いたします。大会期間中の宿泊および食事は主催者から提供されます。

※上記②、③、④の開催に際しては、参加されるチーム代表者、生徒全員に対し、JAXA規定の賠償責任保険等に加入いたします。
※上記④への参加費(15,000円前後)は参加者のご負担となります。
※上記以外の費用については、パスポート申請・入国ビザ取得費用等を含め、参加者のご負担となります。

応募・選考から派遣まで

Schedule for APRSAF-27 Water Rocket Event

1次審査
応募締め切り※消印有効

6/5

1次審査
通過チーム決定

6月下旬

2次審査
面接審査
水ロケット打ち上げ実技審査

7/18,19

日本代表
チーム決定

7月下旬

日本代表
研修

8/21-22

APRSAF-27
水ロケット大会

10/24-25

選考方法

1次審査(書類審査)

JAXA 宇宙教育センター Web サイトより「APRSAF-27 水ロケット大会日本代表募集」ページを開き、「応募書類一式」をダウンロードして作成し、チーム代表者がまとめて APRSAF 水ロケット大会事務局宛に郵送にてお送りください。<http://edu.jaxa.jp/join>



応募書類

●参加申請書(チームで1枚代表者が記入) ●作文(チーム代表者、生徒2名分)
※作文テーマは作文用紙に記載されています。
※同じ代表者が複数のチームを兼任する場合、作文はコピーしたものでも可。(1枚は必ず自筆とする)

任意

水ロケットへの取り組みがわかるレポートや動画の提出を歓迎します。レポートはA4用紙2枚またはA3用紙1枚程度にまとめてください。動画は1分以内にまとめ、視聴可能なリンクをQRコードに変換して紙に印刷したものを提出してください。

(レポート、動画ともチームで各1点まで。両方の提出可)

【経験者枠について】

過去に日本代表として参加経験のある教師・指導者が代表者を務めるチームは、経験者枠での審査となります。経験者枠のチーム代表者への作文テーマは一般枠と異なります。経験者用の作文用紙が必要な方は、事務局(ap_wre_edu@ml.jaxa.jp)までご連絡ください。

募集締切 2020年6月5日(金) 消印有効

1次審査結果のお知らせ

ご提出いただいた書類に基づいて審査を行い、2次審査に進む5～6組(経験者枠は別途2～4組)を選出し、6月下旬ごろ書面にて結果を応募された全チームの代表者にお知らせいたします。

2次審査 面接審査および水ロケット打ち上げ実技審査

実施予定日

2020年7月19日(日)実施、経験者枠は18日(土) ※例年と曜日が異なりますのでご注意ください。
会場……JAXA 相模原キャンパス(神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1)

面接審査

- 1 チーム代表者と生徒2名で5分間の自己紹介および地元の紹介プレゼン(英語)
- 2 質疑応答(日本語と英語)

実技審査

チームで2機以上、予め製作した水ロケットを持参し、各生徒2回打ち上げを行う

※詳しい実施方法については、JAXA宇宙教育センターウェブサイトの「APRSAF-27水ロケット大会日本代表募集」ページをご覧ください

2次審査結果のお知らせ

2次審査終了後、審査会を行い、APRSAF-27水ロケット大会に派遣する日本代表(3チーム計9名、経験者枠含む)を選出し、7月末日までに結果を2次審査に参加された全チームの代表者にお知らせいたします。
日本代表に選出された方は8月21日(金)～22日(土)の1泊2日で実施予定の日本代表研修(水ロケットの製作と打ち上げ実習等)に参加していただきます。

日本代表に選抜された方の義務

全員

水ロケット大会前
8月21日(金)～22日(土)実施予定の日本代表研修に参加すること
水ロケット大会中
積極的に国際交流に努めること

生徒

水ロケット大会後
① アンケート・参加報告書の提出
② 派遣後、学校や地域で参加体験について発表、あるいは紹介をすること。
※体験報告・発表実施時は、JAXA宇宙教育センター職員が見学に向うことがあります。

チーム代表者

① アンケート・参加報告書の提出
② 派遣後、学校や地域で水ロケット等の宇宙を題材とした教育プログラムの推進に努めること。